

新潟県

# 公民館だより

# 2

February 2024  
No.829



## TOPICS

### トピックス その1 県公連の理事会、評議員会、 実行委員会の開催



2月9日(金)に新潟市中央公民館で新潟県公民館連合会の理事会を午前中に、評議員会と関プロ公民館研究大会新潟大会の実行委員会を午後開催しました。

午前中の理事会と午後の評議員会の議題はほぼ同じですが、理事会は少人数で「負担金・事業見直し検討委員会」を兼ねていることから、活発な意見交換の場となりました。次回5月の理事会は評議員会の日とは別に開催しようという提案があるほどでした。

審議内容は、令和5年度の会務報告・決算見込み、令和6年度の事業計画(案)・予算(案)が定例の議題でした。その後の事業予算と負担金の見直しについて、新潟市から令和6年度以降の負担金減額の要望がありました。新潟県からの補助金は令和6年度については5年度と同額ですが、その後の削減も予想されることから、今後の県公連の在り方や事業の見直しについて、5月の理事会で改めて議論していくことになりました。

午後の評議員会と同時に開かれた第2回実行委員会には上越市社会教育課の職員3名も加わり、11月7、8日の関プロ大会の開催概要、準備状況、各市町村への役員や役割分担などについての提案や話し合いが行われました。



### トピックス その2 令和5年度新潟市公民館 全職員研修会の開催



地域に Outreach、地域課題解決のための事業を実施し、地域住民と学び合うことにより、より地域に根ざした公民館を目指すための「公民館改革宣言」を着実に推進するために、公民館職員の意識改革や資質の向上を目的に、公民館全職員を対象とした研修が行われました。

【日時】

令和5年11月9日(木)・14日(火)の2回に分けて開催

【会場】

黒埼地区公民館

【研修(その1)】

ライフプランニング「知っておきたいお金の話」

講師はソニー生命保険株式会社立川さんと堀さんで、一家の收支バランスの変動、資産運用のコツなどを学びました。

【研修(その2)】

どうする公民館

「これからの公民館の可能性について」

講師はみらいずWORKSの鈴木さん、中村さん、乙川さん。3人の講師が各班を回って的確なアドバイス、公民館の可能性について熱心に話し合いました。



特集

# 全国公民館セミナー

## 参加者レポート

第35回全国公民館セミナーが令和6年1月31日(水)〜2月1日(金)までの3日間、東京都千代田区にある丸の内マイプラザホールで開催され、新潟県からは2人の方が参加しました。講師が一流で研修内容が充実していることから毎年全国各地から多くの参加者があります。なお、今回は3日目のグループワークの提案者を新潟県の角野仁美さん(NPO法人みらいずWorks)と 新田直子さん(新潟市東地区公民館)が務められました。

### 〈参加者〉

引問 春菜さん(小千谷市公民館)  
山田 幸江さん(上越市社会教育課)

### 「地域とミライを切り開く公民館」

小千谷市公民館 引問 春菜

ワークショップあり、先進事例あり、情報交換会ありのワクワクし通しの大変有意義な3日間を過ごすことができました。

### 【1日目】シンポジウム

#### 「公民館のミライ図を描こう」

講師・牧野 篤

(東京大学大学院教育学研究科教授)

「社会教育ってなんだろっ」「なんのために社会教育は必要なんだろっ」と今一度原点に立ち返り、日々の業務を振り返りながら自分自身の考えを整理できまし

た。人と人との「かかわり」や「つながり」といった社会教育の土壌を耕すことで社会の豊かな基盤を作ることとなり、ひいてはそれが防災、福祉などの一般行政が有効に機能することにも繋がります。社会教育は目に見えて効果が出るものではありません。いわば地下を流れる水脈のようなものだと牧野先生はおっしゃっていました。普段は気づかないけれど、なければ生活が立ち行かない。その水脈を枯れさせないよう、私たち公民館職員は日々努めていくのだと再認識しました。



講義の前のアイスブレーキング

### 【2日目】

#### 「地域豊饒化のための風、水、土、そして種の話」

講師・永田 宏和

(デザイン・クリエイティブセンター 神戸センター長)

今、どこの社会教育の現場でも予算と人員の削減で苦労されているかと思えます。そんな中、一人ぼっちで従来通り完

壁に事業を仕上げるのではなく、『誰か一緒に手伝ってくれませんか?』その声をあげることで地域の方を巻き込み、作り上げていくことが大切なのだそうです。一人でできることには限界があります。地域と一緒にやってこれまでの事業を見直し、さらに一人では思いつかなかったクリエイティブな要素を加え、事業を「みんなのもの」にする。そうすることで継続していけると気づくことができました。



ワークショップでアイデアを出し合う

ワークショップでは、「新しい公民館のカタチ」を自由な発想でグループに分かれて考えました。その中のアイデアのひとつで、全国各地の地酒を公民館同士で交換し、オンラインで繋いでおしゃべりしながら飲む、いわゆる「居酒屋公民館」は、ぜひ実践したいと思います。まずは手始めに県内から...ということですが、今回一緒に研修に参加した上越市の山田さんとさっそく会場で下話を済ませたとのことです。

### 【3日目】

#### 「公民館のミライをデザインするワークショップ」

講師・角野 仁美

(NPO法人みらいずWorks理事、新潟市社会教育委員)

私たちのグループでは、地域の核とな

り得る面白い人をどうやって見つけていくのかを深掘りしてきました。とある自治体では、某番組企画のように『あなたの周りにいる面白い人を教えてください』と道行く方にインタビューし、実際にその方の自宅に訪問してお話をお聞きし、そしてその方に同様の質問をして...を繰り返して、人材を発掘しているのだそうです。ほかにもさまざまなアイデアがありました。いずれも共通するキーワードは「愛される人」でした。

面白い人、それを探す職員、どちらにおいても『この人に言われたらしようがないな、手伝ってあげようかな』と思わせる力が必要だということです。しかし、それは日頃の間関係で丁寧に積み上げられた信頼があつてこそです。私たち公民館職員は、まず地域の「愛される人」となるべく、地域の困りごとや課題を見つけ、対話し、人間関係を構築していくことで、自ずと地域の面白い人に出会えるのではないかと思います。

地域と対話し、ニーズや課題を探り、一緒になって汗をかいて解決していく。この基本的な姿勢は忘れることなく、これからも意欲的に事業に取り組んでまいりたいです。

### 「シン・公民館

#### —公民館のミライ図—

上越市教育委員会 社会教育課

山田 幸江

今回の全国公民館セミナーでは、「シン・公民館」をテーマに全国の公民館職員計77名が研修に参加しました。

「シン」は「新」「真」「心」等、色々想像できませんが、公民館の未来像にむけて、各専門家からの講義や多彩な先進事例を学んだほか、グループワークや情報交換会等、非常に中身の濃い有意義な時間を過ごせました。

初日のシンポジウムは、牧野篤東大大学院教授から、「ひとを育て、「自治」をつくる公民館」を主題に終戦後の公民館の黎明期から現代までの歴史の変遷について豊富な事例紹介がありました。特に「ウェル・ビーイング」⇨相手への関わりや想像力を高めていくことが、これからの地域づくりに欠かす、社会教育は「社会」を永続させるための営みであり、「社会教育が土壌を耕すこと」で、この社会が豊かな基盤をつくることになり」と指摘されました。



シンポジウム

この視点は、2日目の永田宏講師の地域豊饒化のために必要な「風」「水」「土」「種」の話につながるもので、豊かな土壌改良には種をまく人（風の人の）、活動を支える人（水の人）や地域で活動する人（土の人）の存在が必要であり、いかに多くの人を巻き込むことが出来るかが重要と提言されていました。失敗してもその過程を経ることが真の地域づくりになるという話に少し勇気づけられました。

シンポジウムでは、「2畳大学」を開

設中の梅山晃佑さんや「1階づくりはまちづくり」をモットーに私設公民館を展開する田中元子さんから「先端」事例を紹介いただきましたが、お二人に共通する従来の価値観にとらわれないゆるやかな人間関係に新しい時代の風を感じました。

2日目のワークショップは、「公民館のミライ図を描こう」をテーマに14班に分かれ、「道の駅+公民館」や「デートで行ける公民館」、「公民館炎上中、火を囲めば何かが起こる！」等、多様な未来図が出ました



14班に分かれてワークショップ

が、私たちの班は「ゆんたく居酒屋公民館（17時開館）」を提案しました。ゆんたくは沖縄でしゃべりするという意味で、全国各地の銘酒を品揃えしてお酒を飲みながらオンライン中継（交流）することにより、各地域の関心を高めもらえる契機になればと気軽にまとめましたが、会場から実際にやってみようという人もいて嬉しかったです。

最終日は、長澤成次千葉大学名誉教授の進行で、NPO法人みらいずWORKS理事の角野仁美さん、新潟市東地区公民館の新田直子さん、公民館ユーザーバーのわさびちゃんから「公民館ミライ図」を日頃の活動成果から提案していただき、その後グループワークを行いました。

私たちの班では、「起爆剤と種づくり」をテーマに従来NGとされてきた飲酒火気を使ったイベントやWiFiを活用した公民館活動をどう展開するか等を意見交換しました。

最後に長澤先生から「公民館の未来を考えることはその地域の未来図を考える社会につながる」「色々な人が輝く地域づくりに向けてワクワクしながらチャレンジを続けてほしい」と講評がありました。

今回の研修で、地域の将来を考える上でも公民館活動が非常に重要であることを再認識しました。多様な交流と地域コミュニティの活性化を目指して、今後一人ひとりとつながる公民館職員として日々精進していきたくと思います。



参加者全員で記念写真

## 公民館総合補償制度

公益社団法人 全国公民館連合会

この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

### 3つの補償で公民館活動をサポートします。

#### 1. 行事傷害補償

全公連見舞金制度  
+ 災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)

#### 2. 賠償責任補償

賠償責任保険(施設所有  
管理者特約、昇降機特約)

#### 3. 職員災害補償

全公連見舞金制度+傷害総合保険  
【就業中のみ危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約(支払限度日数180日)】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

\*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店  
(お問い合わせ・資料請求先)

**エコー総合補償サービス株式会社** 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9  
TEL: 0120-636-717(通話料無料) FAX: 0120-226-916(通話料無料)  
(受付時間:平日9:15から17:00まで)

■引受保険会社

**損害保険ジャパン株式会社** 営業開発部第三課  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-3820(受付時間:平日9:00から17:00まで)



(SJ22-11969) 2022年12月27日作成 [2212K-創]



# 「公民館講座を受講しよう!!」

柏崎公民館 館長 窪田 守

公民館講座というと、皆さんはどんなイメージをお持ちですか。

私は、昨年4月に柏崎公民館（市民プラザ）に着任するまで「硬い、古い、つまらない」もので、遠い存在、関わることはないと勝手に思い込んでいました。

ところが、着任して初めに思ったことは、とんでもない勘違いをしていたなということでした。

というのも、当市の公民館講座は、エイジレス（年齢不問）、シニア（概ね60歳以上）、こども向け（小学生）の3コースで構成して、季節に合わせて

多彩な内容で、ほとんどの講座が、すぐ定員を満たします。担当が頭をひねり、講師の先生と綿密な打合せを行い、充実した内容に仕上げているからだと思います。

また、市民の皆さんにお知らせする方法も、チラシ、市広報紙、ホームページだけでなく、今では当たり前となったX（旧Twitter）、Instagram、Facebookも活用して、若い世代への訴求も行っていきます。

そして、新たな試みとして、エイジレスで初心者向けマージン講座を全4回で開講します。公共施設としては、少しばかり冒険という感はしますが、老若男女問わず健全に楽しめ、脳トレ、仲間づく

りには、うってつけです。

既成概念にとらわれないこと、となく、常に新しいものにチャレンジしながら「新しく、楽しい」公民館講座を目指します。

他にも、少シアカデミックな「市民大学」、行政の取組を紹介する「ふれあい講座」など、様々な講座があります。

お気軽にお問合せください。お待ちしております。



## 新潟吹き矢の会

（新潟市）

わたしたち「新潟吹き矢の会」は、腹式呼吸を取り

入れた吹き矢を通じて、會員の技術と健康を高める活動をしている団体です。

数メートル先の的に向かって5本の矢を当て、点数を争う競技でもありますが、「退職後の健康維持のため」「みんなと集まっておしゃべりするため」などさまざまな目的をもって約30人のメンバーが楽しみながら参加しています。

筋力と腹式呼吸力が強化されるという健康面だけでなく、的を狙うときに集中力が高まるというメンタル面にも良い効果をもたらします。

実際にメンバーからは、「姿勢が良くなった」「体がぽかぽかしている」「家ではなかなかできない、無になれる時間が好き」「ストレス解消になる」など喜びの声がかかります。

これからもそれぞれのペースに合わせて無理せず、メンバー同士の交流を楽しみ、そして時に技術を高め合いなが



ら、和気あいあいと続けていければと思います！

（新潟吹き矢の会  
メンバー同記）



**掲 示 板**

**新潟県公民館連合会の令和6年度当初の予定**

● 役員会

(1) 評議員会……年2回（5月、2月）

① 5月17日(金) ② 令和7年2月14日(金)

(2) 理事会……年3回（5月、7月、2月）

① 5月17日(金) ② 9月18日(水)

③ 令和7年2月14日(金)

(3) 監事会……年1回 5月9日(木)

第1回理事会を評議員会と別の日に事前に開催する意見があり、変更もあります。

# 実践記録シリーズ

## 五葉大学オープン講座

### 『ピアノコンサート』

新発田市紫雲寺地区公民館

#### 「五葉大学」について

新発田市の公民館では、学習の成果を生きがいに結び付けるとともに、地域社会への還元を目的として、概ね60歳以上の高齢者を対象に高齢者大学事業を開催しています。

その中でも紫雲寺地区公民館にて行われている講座は「五葉大学」の名称で親しまれ、例年40名程度の学生が月に1回行われる様々な講座に参加し、そこで得た学びを日々の生活に活かしています。

#### オープン講座としてのピアノコンサート

紫雲寺地区公民館には、素晴らしい響きのカワイフルコンサートグランドピアノがあります。令和4年8月、五葉大学の趣旨にご賛同いただいたら5名の音楽家の方より、このピアノを活用したコンサートを行っていただけることとなりました。

せっかく多くの音楽家の方にお集まりいただけるなら、観覧者を五葉大学の学生のみ限定するのではなく、より多くの方に聴きにきていただきたい。そんな想いから、五葉大学の学生以外にも観覧いただける



開会の挨拶

よう、特別にオープン講座としてコンサートを開催することとしました。

#### 「コンサート当日」

ポスターや広報誌などで周知した成果が、当日は五葉大学の学生の他、近隣住民の方から新潟市などの遠方からの方まで、多くの方に来ていただくことができました。

プログラムは「第一部 ピアノ調律師からあなたへ伝えたい ピアノレクチャーコンサート」「第二部 紫雲寺のピアノで聴く 楽しい歌とピアノのコンサート」の二部構成で行われました。

第一部のピアノの調律についての講話では、実際に調律が行われているところを見ながら、音の違いを察しました。普段は見ることのできないピアノの内部まで見ることができ、希望者には実際に手で触れてもらいました。観覧者の中には子どもも多く、とても貴重な体験となったようです。

第二部では、ピアノの演奏だけではなく、オペラの歌唱までご披露いただきました。繊細なピアノの音色に対し、迫力のあるオペラの歌唱。知っている有名な曲で盛り上がったかと思えば、しっとりとした旋律が響き渡る。真剣に聴き入っている方もいれば音楽に



迫力あるオペラ歌唱



調律後のピアノにて連弾



ピアノの構造を見る観覧者

<b>五葉大学 オープン講座</b> <b>紫雲寺地区公民館 ピアノコンサート</b>
<b>&lt;第一部&gt;ピアノ調律師からあなたへ伝えたい</b> <b>ピアノレクチャーコンサート</b>
ピアノってどんな仕組み？どうやって音が出ているの？ピアノの構造や内部の仕組みなどベテラン調律師のわかりやすい解説に親しみ深いピアノ名曲を交えてお届けするコンサート「エリーゼのために」「モーツァルトのトルコ行進曲」ほか
<b>&lt;第二部&gt;紫雲寺のピアノで聴く</b> <b>楽しい歌とピアノのコンサート</b>
ピアノならではの名曲やオペラ名曲など、ソリストを迎えお話と共に聴きましょう 「喜歌劇こうもり序曲」「オペラ カルメンより闘牛士の歌」「お話と聞くマ・メール・ロア」「ベルガマスク組曲より 月の光」「展覧会の絵よりプロムナードほか」「浜辺の歌」ほか

合わせて身体を揺らしている方もおり、観覧者それぞれが思い思いに楽しんでいる姿がとても印象的でした。



しっとりとした曲調のピアノソロ



最後はみんなで楽しく歌いました

#### コンサートを振り返り

観覧者からいただいたアンケートは、「充実した時間を過ごせた」「とても楽しいひと時だった」というような好意的な感想ばかりでした。今後も、学びを深めることはもちろん、参加者が充実感を得られるような事業を行っていききたいと思っております。

# 素顔拝見



十日町市川治公民館  
館長 徳永 袈裟一さん



十日町市川治公民館の徳永館長を紹介します。

徳永館長は長年教員としてご活躍されてこられました。お名前と顔写真で「あっ、徳永先生だ」と懐かしむ方も多いかと思えます。

非常に温厚な方で、学校関係を中心に、とにかく顔が広いです。おかげ様でこどもたちを対象にした公民館事業では、いつも助けられています。

また、管理職として、会議の進行やイベント企画・運営でも遺憾なくリーダーシップを発揮してくださいませ。そして自らも文化・芸術に高い関心を持ち、当館焼物教室の受講生としても活動しておられます。

〔十日町市川治公民館 池田 睦記〕

## インフォメーション

### 関東甲信越静公民館連絡協議会第3回理事会の開催

令和6年11月に関東甲信越静（関プロ）公民館研修大会新潟大会の会場となる上越文化会館で、2月16日（金）の午後に関プロの公民館連絡協議会理事会が開催されました。関プロ所属の10都県（静岡県は数年前に退会）から欠席の2県を除く8都県から、理事である各都県の会長・事務局長、新潟県からは上越市職員4名と県公連事務職員が加わり、総勢19名の参加者でした。12時に集合してお弁当（自費）を取っての昼食会の後、1時から公民館大会の全体会会場となる大ホールを視察し、その後理事会に入りました。



#### 1 開会

関プロの副会長である新潟県の久保田千昭会長が「遠路スキー発祥地である上越市によろこぞ。」とあいさつ

#### 2 会長あいさつ

関プロの会長である長野県の櫻井貞文会長が「能登半島地震では能登地域だけでなく、新潟県でも大きな被害がありお見舞いを申し上げる。学習の拠点、防災の拠点である公民館が地域とのつながりを深めることで、防災、減災、素速い対応につながる。」とあいさつ。

#### 3 議事

① 令和5年度事業報告・令和5年度関プロ公民館研究大会長野大会の報告

② 令和6年度役員、事業計画などが関プロ事務局である長野県から報告

この中で、茨城県公民館連絡協議会の解散が報告され、参加者は大きな衝撃を受けていた。解散の理由は市町村からの負担金がなくなったことによる財政難、ほぼボランティアだった事務局の後任確保困難など。

③ 令和6年度関プロ公民館研究大会新潟大会についての説明

令和6年11月7日（木）・8日（金）に上越文化会館などで開催する大会の概要や今後の準備日程、分科会での発表都県の決定などを新潟県の事務局長が説明し、各都県から多くの参加者をお願いした。上越市の岩野俊彦館長からも開催地としての状況説明と参加の呼びかけがあった

④ 令和7年度の役員及び事務局について

令和7年度は首都圏で全国大会が開催されるため、関プロ大会は開かれない。そのため令和7年度の事務局は6年度に引き続き新潟県が引き受けることになる。

#### 4 情報交換

各都県からの資料を確認

#### 5 閉会のあいさつ

新潟県の久保田会長が「長野大会では長野県の底力とまとまりを感じた。新潟県も頑張って大会を開催したい。県公連からの市町村の退会、県の補助金の削減などお金に関して苦しい状況にある。その中でも地域の拠点としての公民館活動を維持し発展させていきたい。」

このようなあいさつがあり、予定通り3時30分に理事会を終了しました。

※公民館だより4月号原稿を次の市町村をお願いします。

・サークル交流 新発田市 ・実践シリーズ 刈羽村 ・素顔拝見 三条市



能登半島地震で被害を受けられた皆様にお見舞いを申し上げるとともに、対応に当たられた皆様・特に公民館職員の皆様に感謝申し上げます。県公連の久保田会長（小千谷市公民館長）はいくつかの会合で、小千谷市での中越地震の体験を基に地域のつながり、住民の連携が災害対応とその後の復興で大きな力になる。地域の連携の拠点としての日頃の公民館活動ますます重要になるとお話しされています。

11月の上越市での関プロ大会の分科会での発表希望では、多くの都県が「人づくり、地域づくりと公民館」を選んでいました。「人づくり・地域づくり」が公民館活動の中核となることを改めて痛感しました。そのためには公民館職員がリードしていく活動とともに、地域の人たちが主体的に活動できる場を提供して、地域の人たちを巻き込んでいく姿勢や活動がますます重要になっていくと思います。（五井）